



国土交通省

国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
令和2年5月29日

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 既存施設を活用した洪水被害軽減対策 信濃川水系（上流部）治水協定を締結しました

一級河川信濃川水系（千曲川流域・犀川流域）において、河川管理者並びにダム管理者及び関係利水者は、「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」（令和元年12月12日 内閣官房主催既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議決定）に基づき、河川について水害の発生の防止等が図られるよう、21機関30のダムにおいて治水協定を締結しました。

今後は、河川管理者とダム管理者との情報網の整備や施設改良等のハード対策を含めた工程表を作成し、順次計画的に実行してまいります。

- 1 治水協定締結日 令和2年5月29日（金）
- 2 治水協定の内容 信濃川水系（千曲川）緊急治水対策プロジェクトHPに掲載
http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/chikuma_river/index.html
- 3 治水協定締結までの協議の経過

治水協定締結の協議の場として、令和2年3月24日に信濃川水系（長野県）ダム管理連絡協議会を開催し、水害発生が予想される際における既存ダムの洪水調節容量と洪水調節に利用可能な利水容量（洪水調節可能容量）及び事前放流の実施判断の条件（降雨量等）について協議を実施

令和2年5月29日にダム管理者、関係利水者との協議合意

【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・長野市政記者会
- ・日本工業経済新聞社 長野支局

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)7611
副所長 浮田 博文（うきた ひろふみ）



千曲川河川事務所 フェイスブック

検索

クリック

千曲川河川事務所

検索

クリック

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>



ダムの活用

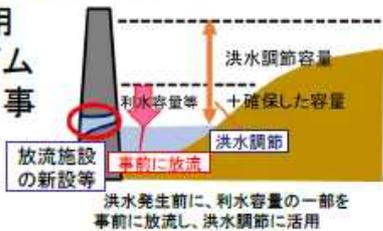
○ダムによる洪水調節は、下流の全川にわたって水位を低下させ、堤防の決壊リスクを低減するのに加え、内水被害や支川のバックウォーターの影響も軽減

○ダムによる洪水調節機能の強化は有効な治水対策の一つ

①ソフト対策による洪水調節機能の強化

- ・利水容量の洪水調節への活用
- ・緊急時における道府県管理ダムや利水ダムを含めた統合運用・事前放流

※利水者や道府県の協力が必要
 ※放流施設の新設や改造等が必要な場合あり



多目的ダム
 (治水および利水の目的を持つダム)

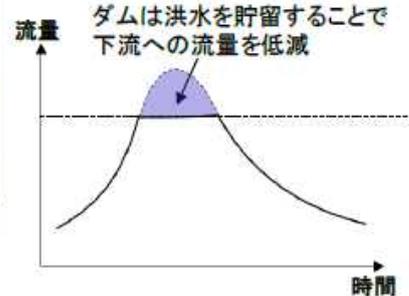


利水ダム
 (利水の目的のみを持つダム)



※利水：発電、農業、上水、工水等

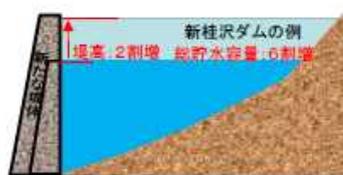
ダムによる洪水調節のイメージ
 ダムは洪水を貯留することで下流への流量を低減



②ハード対策による洪水調節機能の強化

- ・ダムの早期整備
- ・かさ上げ等のダム再生の実施

※ダムの新設には30~50年の期間が必要
 ※良好なダムサイト(ダム本体を造れる場所)には限界あり



全国のダム(1460ダム)による洪水調節機能の早期の強化に向け、水系毎に、ハード対策とソフト対策を一体として、効率的・効果的に取り組むことが必要。

